

管 区 事 務 所  
〒162-0805  
東京都新宿区矢来町65番  
電話 (03)5228-3171  
FAX (03)5228-3175

日 本 聖 公 会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE  
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku  
Tokyo 162-0805, Japan  
Tel. 81-3-5228-3171  
Fax. 81-3-5228-3175

2019年「8・15日韓聖公会共同宣言」

－ 「キリストの平和」を作り出す北東アジアのクリスチャンとして －

「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」（マタイ5:9）

主にある兄弟姉妹の皆さま

今年の8月15日は、第二次世界大戦が終わって74周年になる年です。日本はこの日を敗戦によって終息した日として覚え、平和憲法を制定して再び軍国主義の誘惑に陥らないように努力し、韓国は失った国を取り戻した日として記念し、朝鮮半島の平和のために努力しています。

韓国と日本の聖公会は、過去35年間にわたる交流プログラムを通して、過去の戦争と日本による植民地支配について学びを深めながら、今も続くその痛みや悲しみ、また怒りと不信をどのように癒し、乗り越えるかについても話し合ってきました。そして、朝鮮半島の平和と相互協力、ひいては東アジアの平和な未来を目指して協働しています。特に、日韓両聖公会の青年たちは、25年にわたる交流によって、偏見の克服や文化の相互理解に努め、真の友情関係を築いてきましたし、多くの大韓聖公会出身の教役者たちが日本聖公会の中での宣教牧会に携わってくださっています。

しかし、これまでも、私たち両聖公会の築き上げてきた信頼関係や交流に水を差すようないろいろな問題が、両国間に起きてきたことも事実です。その多くは、両国政府の政治、経済、防衛などに関する政策に端を発していますが、最近も対韓輸出規制問題から、両国間の緊張が高まって、両国間の親善や民間交流にも大きな影響を与えています。

日韓の関係の悪化は、朝鮮半島をはじめとする東北アジア、そして全世界に大きな悲しみをもたらすこととなります。私たちは、正しい歴史認識に立つリーダーシップと国際関係が保たれることを願い求めます。

私たち日韓聖公会は、今までもこのような事態の中で、相互信頼に立脚しながら、平和の福音を宣教するために交流を着実に続けてきました。「8・15」74周年を記念して、キリストの平和を作り出す日韓聖公会は、主から与えられた和解の務めを果たすために、祈り、連帯し、主から与えられた平和の使命をこれからも誠実に果たしていくことを約束します。

2019年 8月15日

大韓聖公会議長主教

モーセ

ユナクジュン  
俞 樂 濬

日本聖公会首座主教

ナタナエル

植松 誠